

検証結果【地方創生関係交付金等活用事業】

※ < > 内は、財源

No.	事業名	事業目的及び概要	事業実施状況	担当課における評価		検証委員からの評価	
				所見	評価	所見	評価
1	SDG s 先進地域「にし阿波」における農泊観光推進プロジェクト（広域連携）  < 推進交付金 >	にし阿波での農業体験や教育旅行等で培われたSDG sに繋がる教育体系を、農泊エリアへの観光誘客に活用し、観光客・宿泊者の増加を図るとともに、地域住民の参画や関与を深めてシビックプライドの醸成につなげる。 また、農泊の拡大や充実、SDG sを活用した新たな旅行商品の開発により、通常の観光や教育旅行よりも深い関係人口の創出を目指す。加えて、世界農業遺産推進協議会を中心にSDG s 観光の核となる農村地域の保全・継承を図る。	民間事業者や一般社団法人「そらの郷」、行政（徳島県と県西部の2市2町）が広域に連携し、農泊受入家庭支援研修や関西・関東の旅行会社等への顧客開拓営業を実施した。また、「にし阿波ツーリズムカレッジ講座」を実施し、シビックプライドの醸成に向けた地域での啓発に取り組んだ。  【KPI】 ①にし阿波における農泊施設の延べ利用者数 目標値：4,000人(内、美馬市：1,810人) 実績値：10,143人(内、美馬市：3,748人) ②にし阿波における国内延べ宿泊者数 目標値：144,000人 実績値：187,272人 ③にし阿波への移住者数 目標値：280人 実績値：443人	令和5年度のにし阿波圏域における体験型教育旅行の受入数は、過去最高となる「7,000人泊」を超え、農泊施設利用者数の大幅な増加につながる等、これまで継続的に実施してきたプロモーションが大きな成果を挙げている。また、アンケート調査結果によると、1人当たり旅行消費額が対前年度比+16.3%の29,037円という結果となった。	①本事業は地方創生に非常に効果的であった（指標が目標値を上回ったなど）	・KPIの数値は、いずれも目標値を達成できているため、引き続き数値を向上させるよう努力していただきたい。  ・農泊施設の利用者の増加は、今後が期待される所であり、関係者との連携をさらに強化する等、一層の体制整備と情報発信が望まれる。  ・SDG sの実践に対しては、もう少し具体的な表記や考察の深掘りが必要である。漠然とした目標では、他の地域と競争した場合にインパクトに欠ける。  ・数字で表すことができないシビックプライドの醸成等については職員や住民が一体となった継続的な取組が必要であると思われ、この点についても粘り強く取り組んでいただきたい。	①当該事業が総合戦略の達成に「有効であった」

No.	事業名	事業目的及び概要	事業実施状況	担当課における評価		検証委員からの評価	
				所見	評価	所見	評価
2	うだつの町並み古民家改修による観光経済活性化事業 ＜拠点整備交付金＞	<p>うだつの町並みにおける宿泊・飲食施設の滞在時間の隙間を埋める新たな消費の場として、また、古き趣ある町並みで新しいものが生まれるインキュベーションスペースとして、うだつの町並み内の古民家を新たなランドマーク施設に改修し、観光誘客と地域経済の活性化を図る。</p> <p>具体的には、当該古民家を朝食がとれる店に改修し、製造したパンを提供・販売するとともに、チャレンジショップとしても整備するほか、本施設の2階をギャラリー兼コミュニティスペースとして整備・貸出することで、地元との交流を促進する。</p>	<p>令和4年度に引き続き、令和5年度も改修工事を実施し、朝食を提供できるパン工房や出店希望者がテストマーケティングできるチャレンジショップ、コミュニティスペース等を兼ね備えた施設として、令和6年3月に竣工した。令和6年度に指定管理者の公募及び指定を行う。</p> <p>【KPI】</p> <p>①うだつの町並み観光入込客数 目標値：170,000人 実績値：171,551人</p> <p>②当該施設における年間売上額 目標値：6,000千円 実績値：0千円</p> <p>③当該施設における周辺宿泊施設等との連携件数 目標値：1件 実績値：0件</p> <p>④当該施設におけるチャレンジショップ利用件数 目標値：1件 実績値：0件</p>	<p>令和5年度に事業が完了しているが、運営開始は令和6年度中を予定しているため、運営をスタートし効果を検証できるのは令和7年度になる見込みである。</p>	<p>⑤事業効果を確認できない</p>	<p>・実質的に稼働していないため、評価検証は難しい。</p> <p>・ベーカリーショップとしての「経営」のみならず、チャレンジショップやギャラリー活用による「集いの場」として、うだつの町並みの中でシンボリック役割を担っていただきたい。</p> <p>・徳島県内でも新しいパン屋が開店しているが、商品に目新しさが必要であると考えられる。</p> <p>・今後のうだつの町並みの方向性を、住民の方々も含めて再度検討することも必要と思われる。</p> <p>・単独の施設の業績だけではなく、他の観光施設やチャレンジショップ、農産物の直売所等と連携したにぎわい作りが重要である。KPI③や④にも着目し、事業を進めていただきたい。</p>	<p>③当該事業が総合戦略の達成に「有効であったか検証できない」</p>

No.	事業名	事業目的及び概要	事業実施状況	担当課における評価		検証委員からの評価	
				所見	評価	所見	評価
3	<p>木屋平・古宮・口山地区見回り服薬サポート事業</p> <p>&lt;企業版ふるさと納税&gt;</p>	<p>山間部にある美馬市木屋平、古宮、口山地区では医療機関が身近ではなく、若者との交流機会も少ないため、薬剤師等による見回り服薬サポートと安否確認を実施するとともに、大学薬学部と連携して、へき地医療研修を通じ大学生と高齢者との交流を深める。平成29年度から旧木屋平中学校校舎を改修した木屋平複合施設（小さな拠点づくり事業）に入居し、活動を継続している。</p>	<p>NPO法人「山の薬剤師たち」に在籍する薬剤師3名が、美馬市内の中山間地域に位置する3地区を巡回し、医薬品の配送や服薬の指導、安否確認の声かけや見守り活動を行った。</p> <p>&lt;令和5年度訪問実績&gt;  訪問日数：217日  訪問人数：801人(3.7人/日)</p> <p>【KPI】  ①見回り服薬サポート年間回数  目標値：220回  実績値：217回</p>	<p>実績は計画値に届かなかったが、令和4年度より訪問回数は増加した。また、スタッフ等の配置体制は令和4年度と同様で、効率的な事業運営が図られており、サービスも高水準で維持されている。</p>	<p>②本事業は地方創生に相当程度効果があった（目標値を上回ることはなかったものの目標値を相当程度（7～8割）達成したなど）</p>	<p>・KPIはほぼ達成できている。服薬指導のみならず、くらしや健康の「見守り」と様々なリスクの「未然防止」の機能を果たしており、重要かつ今後も継続すべき事業であると考えため、より一層の充実・発展を図っていただきたい。</p> <p>・本事業により実際に医療費がどの程度削減されたか、住民の方々の健康寿命の延長にどの程度貢献したかの視点も重要である。次期総合計画に向けてアウトプット指標の検討も行っていただきたい。</p> <p>・服薬サポートに加え、様々な見回りを同時に実施できるシステムを考える必要がある。医療費の収入だけで他の取組を実施するのは費用的に難しいと思われるため、ふるさと納税等の別の財源をさらに充当しては。</p>	<p>①当該事業が総合戦略の達成に「有効であった」</p>

No.	事業名	事業目的及び概要	事業実施状況	担当課における評価		検証委員からの評価	
				所見	評価	所見	評価
4	美馬市「人生100年時代」美と健康のまちづくり推進プロジェクト ＜推進交付金＞	幅広い市民が「人生100年時代」とは何かを知り、「人生100年時代」にふさわしい人生設計を行うとともに、100歳人生の後半（高齢期）に健康で積極的に社会に参加し、それまでに培ってきた豊かな経験やスキル、「学び直し」によって身につけた知識等を地域社会で十分に発揮できる姿を目指す。 具体的には、「ジェロントロジー市民アンバサダー」の養成や活動支援、「美」を通じた高齢者の外出促進、「運動」と「栄養」へのアプローチによる健康づくり等、様々な取組を一体的・総合的に展開する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ジェロントロジー市民アンバサダー」を養成するための講演会や連続講座、ワークショップを実施した。</li> <li>・アクティブシニアとのマッチングや情報発信等を行うポータルサイトを運営し、普及啓発に取り組んだ。</li> <li>・高齢者の外出促進のため、美容体験会等を実施した。</li> <li>・「プロギング」イベントやウォーキングイベント、「食の教室」を実施した。また、市民の方々から募集したウォーキングコースを審査を経て認定し、マップの作成や誘導表示シートの設置を行った。</li> </ul> <p>【KPI】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①アンバサダー事業以外の取組への延べ参加者 目標値：1,130人 実績値：1,041人</li> <li>②ジェロントロジー市民アンバサダー年間延べ活動日数 目標値：2,500日 実績値：566日</li> </ul>	KPIは目標値に到達しなかったものの①は約9割達成し、②も昨年度より増加した。また、ジェロントロジーワークショップにおける市民アンバサダー同士の対話で、アンバサダー活動の深掘りができ、周りを巻き込んでいきたいという意欲に繋がっている。引き続きアンバサダー活動を後押しすることで、アンバサダーの習熟度を高めて活動を増やし、「人生100年時代」美と健康のまちづくりを持続可能なものとしていく。	③本事業は地方創生に効果があった（目標値を上回ることはなかったものの事業開始前より改善したなど）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・延べ参加者がほぼ目標を達成しており、有効であったと考える。</li> <li>・活動実績としては、申し分のないものである。</li> <li>・一方、アンバサダーの活動日数が目標数値を下回っている。そもそもKPIの設定の根拠が十分に分からない部分があるため、見直しの検討が必要であると思われる。</li> <li>・ジェロントロジーという考え方は特徴的ではあるが、市民の方々の中で「ジェロントロジー」という言葉はどの程度認識されているのか。認識割合が低い場合は、表現を変えらることも必要。</li> </ul>	①当該事業が総合戦略の達成に「有効であった」